

平成30年度修士課程（一般選抜・秋期試験）問題 目次

外国語試験		ページ
英語・ドイツ語		2～4
専門試験A・B		ページ
文化動態論	共生文明論	5～8
	アート・メディア論	9～11
	文学環境論	12～15
	言語生態論	16～18

平成30（2018）年度
大阪大学大学院文学研究科（修士課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
外国語試験 英語

[問題用紙は2枚あります。]

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 次の英文を日本語に訳しなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお出典は以下の通りです。

出典：John A. Sloboda, *The Musical Mind: The Cognitive Psychology of Music*. (Oxford: Oxford UP, 1985). 1頁1～6行.

II. 次の英文を読み、下線部を日本語に訳しなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお出典は以下の通りです。

出典：Robert C. Allen, *The Industrial Revolution: A Very Short Introduction*. (Oxford: Oxford UP, 2017). 3頁24行～4頁2行.

III. 次の英文を読み、下線部を日本語に訳しなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお出典は以下の通りです。

出典 : Monika Pietrzak-Franger, ed. *Women, Beauty and Fashion: History of Feminism*.
London: Routledge, 2014). 15 頁 4~23 行.

IV. 次の日本語の文章を読み、下線部を英語に訳しなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお出典は以下の通りです。

出典 : 川島四郎(1989)「青野菜の食べ方」『母の加護』(文春文庫 1989 年). 289 頁 1~6 行.

平成30(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題

外国語試験 ドイツ語

[問題用紙は1枚です。]

問題1 つぎの全文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[Aus: Weber-Kellermann, Ingeborg: *Völkfeste in Deutschland*. Hamburg 1981, S.48, Z.1-17. 出題に際して、原文を変更している箇所があります。]

問題2 つぎの全文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[Aus: Osterhammel, Jürgen: *Kolonialismus*, München 1995, S.23, Z.1-6. 出題に際して、原文を変更している箇所があります。]

問題3 つぎの全文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[Aus: Hickethier, Knut: *Film- und Fernsehanalyse*. Stuttgart 1993, S.39, Z.30-36. 出題に際して、原文を変更している箇所があります。]

平成30(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 共生文明論コース 専門試験(A)

[問題用紙はこの1枚のみです。]

以下の問1～問2に答えなさい。解答は解答用紙に記入のこと。

問1 次の(a)～(h)の問いから2つを選んで解答しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- (a) 地域社会におけるコミュニティとアソシエーションの異同と機能について説明しなさい。
- (b) 周縁とされてきた人びとや地域の視点から、文化や歴史を捉えなおすことの重要性について、あなたの考えを述べなさい。
- (c) 近世日本における身分制度の特質について、知るところを述べなさい。
- (d) 中世から近世にいたる日本の知識人階層の変遷について、歴史的に説明しなさい。
- (e) 近年、近世国家を特徴付ける概念として「財政軍事国家」という概念が言及されることが多いが、その特徴を具体的な事例を示しながら述べなさい。
- (f) ヨーロッパ諸国が南北アメリカ大陸と本格的な交流を始めて以来、生態学的な大きな変化が生じたが、その特徴を具体的な事例を示しながら述べなさい。
- (g) アジア(日本を除く)から任意の地域を選び、その地域における歴史書編纂と近代国民国家の形成との関係について述べなさい。
- (h) アジア(日本を除く)から任意の地域を選び、そこにおける国家の正統性についての考えの歴史的変遷を述べなさい。

問2 次の(a)～(j)から3つを選んで内容を解説しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- (a) 田園都市
- (b) EU離脱
- (c) クライエンテリズム(clientelism)
- (d) 「劇場国家」(theatre state)
- (e) 宗門改
- (f) オランダ東インド会社
- (g) 啓蒙思想
- (h) 魔女狩り
- (i) 鄭成功(1624～1662)
- (j) 景德鎮

平成30(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 共生文明論コース 専門試験(B)

[問題用紙は、この紙を含めて3枚あります。]

(注意事項)

- ・ 添付されている問題は、問1、問2の全2題である。どちらも必ず解答すること。
- ・ 解答用紙のそれぞれ冒頭に「問1」または「問2」と記入すること。
- ・ 解答は、日本語で解答用紙に記入すること。
- ・ 中辞典程度の英語辞書の持ち込みを可とする。

問1 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します（出典は下記）。

引用部分は、“An essential point in anthropological research on globalisation lies in the necessity”から、“What needs to be studied ethnographically, Sahlins argues, is ‘the indigenization of modernity’.”までです。

なお、問アの「囲み部分」とは、“An essential point in anthropological research on globalisation lies in the necessity”で始まり、“and thus more easily recognise our mutual differences.”で終わる部分です。

問イの「下線部」とは、引用部分の末尾の“ ‘the indigenization of modernity’.”を指しています。

(Thomas Hylland Eriksen, *SMALL PLACES, LARGE ISSUES: An Introduction to Social and Cultural Anthropology*, Pluto Press, 2001[1995], p.307 より抜粋、一部改変)

問ア. 囲み部分を日本語に訳しなさい。

問イ. 下線部の意味を具体的に説明しなさい。

問2 次の文章は、Wang Gungwu の著作、*China and the Chinese overseas*, Singapore : Times Academic Press, 1991-1992 の 10. The Culture of Chinese Merchants の冒頭部分です (p.190 より抜粋、一部改変)。これを読んで、以下の設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します (出典は上記)。

引用部分は、小見出しの“Merchant Culture at Home and Abroad”から始まり、“at a time when trading opportunities were expanding within China itself.”で終わる部分です。

なお、問アの「囲み部分」とは、“And, most of all, they noted the way the Chinese merchants organized themselves.”で始まり、“there were also tutoring arrangements to effect a degree of literacy.”で終わる部分です。

[語注] Tianhou : 天后、Guan Yu : 関羽、Fujian : 福建、Guangdong : 広東、bodhisattva : 菩薩

問ア. 囲み部分を日本語に訳しなさい。

問イ. 下線部分 “Chinese merchants overseas received no official protection whatsoever.” から考えて、この文章に書かれた状況は、歴史的にいつごろのことと判断できるか。その理由も含めて説明しなさい。

平成30(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 アート・メディア論コース 専門試験(A)

[問題用紙は1枚です]

問1 次に挙げる8つの用語もしくは固有名の内から自由に5つを選び、それぞれ5行程度で説明しなさい。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| (1) 武田五一(建築家) | (2) 分離派建築会(日本の) |
| (3) アヴィニョン演劇祭 | (4) クオ・パオクン |
| (5) モダンダンス | (6) 複製技術 |
| (7) 青騎士(der Blaue Reiter) | (8) Fondation Louis Vuitton |

問2 次に挙げる4つの設問A~Dの内から自由に2つを選び、解答しなさい。

- A. 現代のマス・メディアにおける社会的弱者をめぐる表象の問題点を指摘し、問題に対して意識的であると考えられる映像表現の具体例を挙げ、その理由を映像技法や身体表象に即して述べなさい。CMやウェブ動画など、タイトルがない例について述べる場合は、スポンサーや制作者名、制作年代、賞歴などで、対象を同定できるようにすること。
- B. 上演芸術において「ポリティカル・コレクトネス」が問題にされた例を一つ示し、それについて説明しなさい。
- C. 芸術作品におけるイメージとそれにまつわる言葉・言説との関係について考えるところを、具体例をあげつつ論じなさい。
- D. 日本の代表的な戦後モダニズム建築(主に1950年代以降)の保存と活用がはらむ諸問題や課題について、複数の具体作品(最低2点)を比較検討しながら考察しなさい。

平成30(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 アート・メディア論コース 専門試験(B)

[問題用紙は1枚です]

問 次に挙げる4つの設問A～Dの内から自由に2つを選び、解答しなさい。

- A. ドキュメンタリーの現実に対する批判性を、映画の基本的な技法に即して説明した上で、上演芸術(ダンスやパフォーマンス・アートなど)を写したドキュメンタリーの可能性と困難について、考えを展開しなさい。
- B. 上演芸術と歴史的過去との関係について、現代の上演例を具体的に取り上げ、その問題点と可能性を説明しなさい。
- C. 日本および東洋の美術(絵画、版画、彫刻、書、写真、建築など)と西洋美術の接触により、相互にどのような影響が生じ、どのような新しい現象が現れてきたか。近世、近代から現代までの時代について概観するとともに、特定の時代や影響関係を取りあげ、その接触の様相を詳しく論じなさい。
- D. 近年、東京・日本橋(別紙・図版)の上を走る首都高の高架の撤去について、その是非をめぐる議論が高まっています。このいわゆる「日本橋問題」について、「景観」、「都市計画」、「保存」の視点をふまえながら、あなたの考えを述べなさい。

図版は著作権等に配慮し、掲載を省略します。なお、出典は下記のとおりです。

(写真出典：Wikipedia： https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/3/32/Nihombashi_12.jpg)

平成30年度(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 文学環境論コース 専門試験(A)

[問題用紙は2枚あります。]

I. 次の英文を読み、後の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

J. Hillis Miller, *Theory Now and Then* (Duke UP, 1991, p. 14, l. 35 – p. 15, l. 22)

(イ) 括弧「」内を日本語に訳しなさい。

(ロ) 下線部で要約されているこの文学批評の方法がうまく機能しないことがあるとすれば、それはどのような場合か。できるだけ具体的に、あなたの考えを述べなさい。

以下、次の文章は、川端康成の短編集『掌の小説』に収録された『歴史』（初出は『文藝時代』一九二七年一月号）と題するテキストの全文です。

この作品について十五分間のプレゼンテーションをする場合、あなたはどのような発表をしますか。まず、あなたの問題意識を明らかにしたうえで、発表の構成について記し、重要なポイントについては具体的に説明しなさい（レジュメあるいはスライド＋ノートなど、発表の形式は自由です）。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお出典は次の通りです。

川端康成『掌の小説』（一九八九年、新潮文庫） 一八二頁二行～一八三頁二行。

平成30年度(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 文学環境論コース 専門試験(B)

[問題用紙は2枚あります。]

I. 次の英文を読み、後の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

出典：Elana Gomel, *Science Fiction, Alien Encounters, and the Ethics of Posthumanism: Beyond the Golden Rule* (Palgrave Macmillan, 2014, p. 19, l. 1 – p. 20, l. 3)

(イ) 括弧「」内を日本語に訳しなさい。

(ロ) あなたが大学院で行おうとしている文学研究に“humanism”という概念がどのように関わってくるかを、本文で述べられていることに適宜言及しながら説明しなさい。

Ⅱ. 次の文章は、吉田城著『失われた時を求めて』草稿研究』の一節です。後の問いに答えなさい。(吉田著『失われた時を求めて』草稿研究』一九九三・二一、平凡社、二〇頁三行～二二頁二行)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。

吉田城『失われた時を求めて』草稿研究』(平凡社、一九九三年) 二〇頁三行～二二頁二行。

- (イ) このような研究方法の呼び名を知っていますか。知っていれば記しなさい。簡単に解説を加えても構いません。
- (ロ) 右の文章において、筆者は、従来の文学作品の研究についてどのように批判していますか。わかりやすく説明しなさい。
- (ハ) 筆者の考え方について、また研究方法について、どのように考えますか。あなたの考えを自由に述べなさい。具体的な例が挙げられるようなら、それを挙げて説明しなさい。

平成30(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 言語生態論コース 専門試験(A)

[問題用紙は2枚あります。]

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 次の文章を読んで、次頁の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお出典は以下の通りです。

- (1) 下線部 (a) を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部 (b) について、以下の2つの問いに答えなさい。
 - (2-1) 言語の史的・研究において、“external history” および “internal history” とはそれぞれどのような歴史のことをいうのか、本文に即して説明しなさい。
 - (2-2) あなたの研究にとって、“external history” および “internal history” を考えることにはそれぞれどのような意味があるか、自由に述べなさい。

[出典：Machan, T.W. & C.T. Scott (eds.) (1992) *English in Its Social Contexts: Essays in Historical Sociolinguistics*. Oxford: Oxford University Press.

10 頁下 5 行目～11 頁 31 行目]

II. 以下の受動文のデータからどのような特徴が認められると容認度が上がると考えられるか。それぞれの文の意味を説明したうえで答えなさい。(*は容認度が低いことを表す。)

- (1) *This pen was written with by John.
- (2) That pen was written with by Charles Dickens in the 19th century.
- (3) *The U.S. has been lived in by Ann.
- (4) The U.S. has been lived in by generations of immigrants.
- (5) *The bridge was walked under by the dog.
- (6) This bridge has been walked under by generations of lovers.

[出典：Takami, K. (1992) *Preposition Stranding*. Berlin: Mouton de Gruyter. pp. 128-129.]

III. 日本語の授受動詞に関する以下の問いに答えなさい。解答に際しては必要に応じて例文を示すこと。

- (1) I gave him a book. と He gave me a book. という2つの英文はそれぞれ「私は彼に本をあげた。」「彼は私に本をくれた。」という日本語文に訳すことができる。動詞「あげる」と「くれる」の使い分けの条件を考え、できるだけ一般的な形で答えなさい。
- (2) 授受を表す日本語の動詞には「もらう」もある。「あげる」「くれる」「もらう」の意味・用法の違いを考えて答えなさい。
- (3) 授受を表す日本語の動詞には「あげる」「くれる」「もらう」のほかに「やる」「さしあげる」「くださる」「いただく」などもある。それらの計7つの動詞が意味・用法上どのような関係にあるかを考えて答えなさい。

平成30(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 言語生態論コース 専門試験(B)

[問題用紙は1枚あります。]

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 次の項目の中から5つ選んで説明しなさい。

1. 遂行文 (Performative sentence)
2. 駆流 (Drift)
3. 語尾 (Ending)
4. 標準語 (Standard language)
5. 縮約 (Contraction)
6. 形態素 (Morpheme)
7. Finite clause (定形節)
8. Word formation (語形成)
9. Umlaut
10. 取り立て助詞

II. 次の問い (A)、(B)、(C) のうちいずれか1つを選び、答えなさい。

(A) 例えば英語とドイツ語が親近の関係にあることは広く知られている。このような言語の親近性を確認するにはどんな方法が採られるのか、あなたの知っている言語の例を用いて説明しなさい。

(B) 日本語の文法に関して多くの研究がなされている分野ないしテーマを1つ選び、それについて知るところや考えるところを述べなさい。

(C) 直示表現(Deictic expression)の持つ特徴について知るところを述べなさい。

III. いわゆる「動物の言語」にはない、人間の言語の特徴について論じなさい。